

施策番号	施策名	予算額(百万円)	
514	科学技術交流の推進	643	
<p>【2010年度の目標】 公設試験研究機関と県内の高等教育機関、国立研究機関、民間企業との間で情報交換や人材、技術の交流が図られ、視野の広い研究開発が行われるとともに、科学技術をにう人材が育っています。 また、国内外との交流や共同研究などが実施されるとともに、国際会議などの開催により、地域の研究成果が広く発信されるなど、国際的な科学技術の拠点が形成されています。</p>			
項目	基準年度の状況	1999年度実績	2001年度の目標 (2010年度の目標)
国際的な科学技術会議の開催回数	年1回	-	年1～2回 (年3回)

これまでの取組

科学技術推進計画を策定するとともに、幅広い県民の意見等を科学技術振興に反映させるため、「みえサイエンス・アカデミー」を立ち上げました。

試験研究機関の研究機能を強化するため、新しい研究体制の発足を目指し、現状の組織体制の見直しを行うとともに、研究評価システムを構築しました。

また、地域を取り巻く諸課題に対応するための共同研究事業を実施し、特許出願、学会発表、成果発表等を行い、実用化に向け技術普及を図ってきました。

平成13年度の取組

平成13年度においては、地域のニーズに対応した研究開発を推進するため、産学官連携を強化し、共同研究を実施します。また、先導的な分野に係る研究の方向性についての調査、検討を行い、プロジェクト研究へと発展させていきます。

「みえサイエンス・アカデミー」の運用により、幅広い県民の意見・ニーズを集約し、科学技術振興施策に反映していくとともに、広く県民に開かれた試験研究を効率的に実施するため、研究評価システムを活用します。

研究成果については、特許取得、成果発表会等を通じて、地域への普及を図ります。

主な事業

1 共同研究事業 (27,776(27,776)千円)

【(108)共同研究事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕

研究者が互いの知識、技術を最大限に発揮し、独創的な研究を効率的・効果的に進めるため、次のテーマについて産学官による共同研究を実施します。

- ・多自然型河川づくりに関する研究
- ・伊勢湾の生態系の回復に関する研究
- ・環境ホルモン類に関する研究

2 (新)先導的研究企画費 (5,808(5,808)千円)

【(103)研究企画事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕

時代の研究ニーズであるバイオテクノロジー、機能性食品新素材に関する研究開発の方向等について検討を行い、プロジェクト研究等へと発展させる等、先導的研究を推進します。

3 サイエンスアカデミー運営費 (2,147(2,147)千円)

【(104)研究交流事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕

幅広い生活者起点の科学技術振興を図るため、県民や有識者で構成する「みえサイエンス・アカデミー」を設置し、科学技術に関する県民ニーズや地域課題の把握を行い、反映させていきます。

- 4 (新) 研究評価システム推進費 (1,475(1,475)千円)
【(105)研究評価事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕
県民に期待される試験研究を適確かつ効率的に実施するため、研究テーマについて第三者による厳正な評価(事前・中間・事後)を行い、その評価結果を予算配分に反映します。
- 5 研究交流事業 (6,685(3,485)千円)
【(104)研究交流事業】〔総合企画局科学技術振興センター〕
科学技術への理解を深めるため、公設試験研究機関の県民への開放など県民を対象とした事業を実施するとともに、他県との共同研究の推進や友好姉妹都市との科学技術交流等幅広い研究交流を行います。

主な見直し項目

国際会議開催事業は、平成 12 年度単年度事業のため廃止しました。
研究交流事業は、事業を効率的・効果的に実施するため国際技術交流促進事業と科学する青少年育成事業を統合しました。